



県議会議員
山本友子



市議会議員
小沢みか

おまかせにしない 市民の政治

NO.98 2015. 2

いちほら市民ネットワーク通信



発行：いちほら市民ネットワーク 代表 桑田尚子
〒290-0073 市原市国分寺台中央 7-1-5 C1
☎:0436-21-1907 Fax:0436-21-9073 e-mail: i.shimin-net@muse.ocn.ne.jp

めざします こんな 市原

山本友子 これからもやります

4月12日は県議会議員選挙投票日



2/7 国分寺台の事務所には支持者が多数駆けつけました

地域の暮らしは、地域で守る。

市民ネットワークの議員として、今ここで生きる人たちの暮らしと環境を守る活動を続けてきました。語り合える仲間がいて、助け合いの仕組みがあって、自分も少しは誰かの役にたっていると実感できれば、人は何とか生きていける、そんな事を痛感しています。温暖で豊かな市原の自然が大好きです。のんびり楽天的な市原気質も大好きです。そんな市原をもっと子育てしやすい街にしたい、お年寄りが孤独にならない街にしたい、男も女も共に力を出せる街にしたいと願っています。大胆発言が私の持ち味、これからも県議会で全力を尽くします。いっしょに頑張りましょう。

県議会議員 山本友子

春は統一地方選の季節です。医療と介護の連携子育て支援の仕組みづくり、「放射性廃棄物最終処分場問題」など、財政難に加え課題は山積しています。一方、市原の文化再発見などのワクワクする取り組みも始まっています。今こそ「市民力」、市民が知恵と力を出し合って新しい市原を築いていきましょう。山本友子も3期目の県議選に挑戦します。



森山・桑田・山本・小沢

6月7日 市議会議員選挙投票日

市議会議員候補予定者

ありのままの姿を認め合う社会へ

誰もが安心して自分らしく暮らせるまちへ



新人
森山かおる
飯沼 在住

私には障がいをもつ子どもがいます。特別支援学校PTA連合会の会長を2年間務め、教育・福祉・医療の問題に深く関わるようになりました。

特に福祉と医療は誰もが直面する問題であり、親の介護も経験してきたことから、その連携の必要性を強く感じています。市民ネットの活動に携わるようになって、これまで以上に当事者ならではの声を市政に届けたいと思うようになりました。

人の価値は能力や生産性だけで決められるものではありません。高齢者も子どもも、障がいがあってもなくても、大切な社会の一員です。全ての人がありのままの姿を認め合う社会づくりに取り組んでいきます。



現職
小沢みか
八幡 在住

市議会議員として早3年半。よき先輩で同志でもあった岡村由美子議員亡き後、一人会派となり、手探りしながら無我夢中で駆け抜けてきました。

薬剤師の資格を生かし、地域医療をはじめジャンルを問わず市内全域から市民の声を拾い集め、議会（一般質問）で毎回発言しています。

地域の政治は、市民一人ひとりが主役です。生活者の声がまちづくりに反映されることが、人口減少時代にあっても豊かな暮らしを実現することにつながります。

そのために議会改革をさらに進め、生活者としての女性の感性を生かして、一人ひとりが安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、全力で取り組みます。

市民ネットワークはここがちがう!

兵庫県の号泣議員で話題になった※政務活動費。千葉県や市原市では政務活動費はいつでも閲覧できます。市民ネットでは更に議員報酬の使い方も公開しています。市民ネットの議員は、報酬の一部を受け取り、あとは事務所の運営費や市民が参加できる活動費にあてています。

※政務活動費とは…政策調査研究等の活動のために議員報酬とは別に支給される費用。県議の政務活動費は480万円(年額)、市議の政務活動費は132万円(年額)。余ったお金は返還しています。



市民ネットのお財布事情 - 議員報酬の使われ方

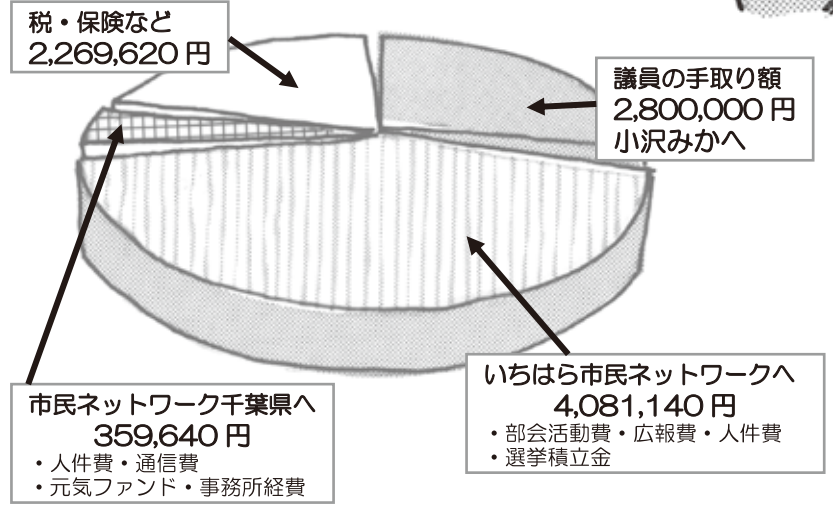
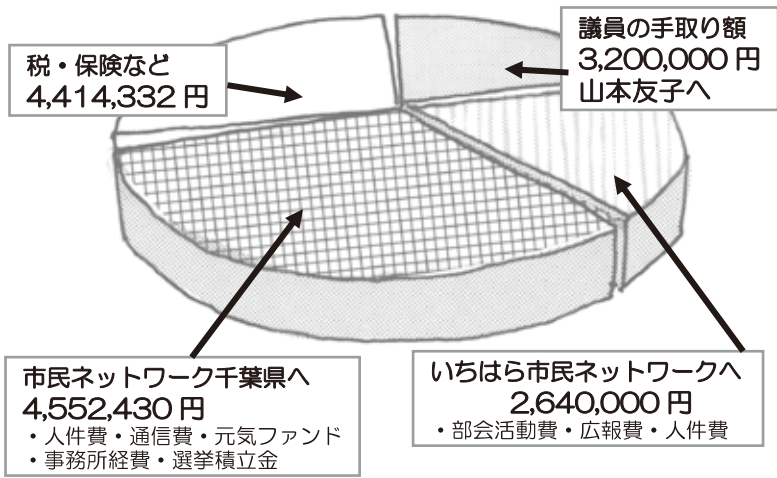


県議 山本友子の場合

議員報酬額 2014年1月~12月
14,806,762円

市議 小沢みかの場合

議員報酬額 2014年1月~12月
9,510,400円



市民ネットのお知らせ

連絡先 0436-21-1907

山本友子選挙事務所

ボランティアを募集しています。
みなさまのお力を貸してください。

期間: 市議選挙(6/7)が終わるまで
時間: 10時から17時まで
土・日・祭日も事務所を開けています。

*おしゃべり介護喫茶
店主: 喜多庸子(自宅介護歴17年)
3月27日(金)13:30~15:30
4月24日(金)13:30~15:30

*レアメタルの回収拠点
使用していないパソコン・プリンター・携帯電話など、リサイクル会社が回収します。機器内の情報は適正に処理します。

*石けん・ランドリーナッツの販売

*印刷機・コピー機を実費で使用できます。

市民ネットワーク会員募集

会費振込先 いちはら市民ネットワーク
郵便振替口座 0130-3-575259
年会費 2,000円

台所から見える政治

日々の生活を支える女性の声を届けようと、25年前から女性を議会に送り出してきました。時代の流れと共に家事、育児、介護に男性の参加も増えた現在、性別を越えて「生活から生まれる声」を議会に届けています。

市民のための政治は市民参加からと考え、子ども部会・福祉部会・環境部会・まちづくり部会を開き、議員も市民も一緒に調査し活動の企画をしています。また、地域の課題は地域の人に聞くのが一番と、当初からミニ集会も開いてきました。

おまかせにしない政治をめざして、市民ネットは今後も市民参加型の活動を大切にしていけます。



辰巳台でのまちづくり懇談会

市民ネットワークの特徴

- 1、議員はローテーション制 市民目線を失わないために、最長3期(12年)で交代し、議員の職業化、特権化をしません。
- 2、企業や団体からの寄付を受けない しがらみがないから、きっぱり大胆に発言・行動できます。
- 3、議員報酬を市民に還元 議員報酬を市民が参加できる様々な活動費(*元気ファンドなど)に充てています。報酬の用途は公開しています。

*元気ファンド 市民ネットワーク千葉県では、市民活動を支援するために、議員報酬の一部を「元気ファンド」として助成しています。また、2011年から東日本大震災市民活動支援として、被災地を支援する活動の助成も行っています。元気ファンドは10年間で55団体に総額は約2150万5千円、東日本大震災支援は4年間で23団体に総額1078万円を助成しました。

小沢みか 12月市議会報告



みかのメイクオフ日記
ブログで活動を報告しています

でも見る事ができます



たくさんの歴史ファンが集まった阿須波神社の前で(市原市市原)

手助けの必要な人も困っています ～災害時要援護者支援制度～

市では、高齢者や障がい者など、災害時に援助が必要な市民の名簿を作り、町会に提供して個々に支援者を決めるよう依頼しています。ところが、これがなかなか進みません。



ミカの
ちょっと
ひとつ



支援が必要な方ほど、自分から名乗り出るのは難しいものです。また、名乗り出ても町会に所属していなかったり、個人情報の取り扱いなど町会の負担が大きいので、「これは共助ではなく『公助の下請け』だ」との声も聞かれます。

今一度共助の意味を問い直し、住民の立場に立った災害支援のあり方を考える必要があります。

あなたは、市原市に誇りと 愛着を持っていますか？

まちづくりの土台は、文化です。市民が誇りと愛着を持っていることが基本となります。

昨年春、南市原で芸術祭(アートミックス)が開かれましたが、市民の関心は今のとつでした。現代アートもいいのですが、物珍しさだけでは地域に根付かず一過性のイベントで終わってしまいます。

一方、市原市にはもともと全国に誇れる歴史遺産があるのですから、まずそちらを生かすことが大切です。

■市原市固有の歴史遺産・国府推定地の整備は

先日、市民有志の観光ボランティア団体による「まぼろしのかずさ国府を訪ねて、古道を歩く」というコースガイドに参加し、市原・郡本地区を歩きました。この歴史ガイドは多くの

マスコミに取り上げられ、参加者は一年間で延べ五百名を突破した人気講座です。

しかし案内標識などが未整備で、まず駅で戸惑う遠方からの観光客も多く、公衆トイレは荒れ放題で、全く使用不可能というひどい状態でした。

「市原市観光振興ビジョン」には観光地のトイレなどの整備が掲げられています。国府推定地は観光地ではないのでしょうか？

■「歴史講座」の再開を!

市原市が上総国の政治文化の中心地であったことを象徴する歴史遺産、上総国分尼寺跡。その展示館では、一昨年まで年10回ほど歴史講座が開かれ、大好評でした。しかし現在は、講師の学芸員不足などを理由に中止されています。

市の財政事情で専門職の確保が難しいのであれば、意欲のある市民団体や市民大学の卒業生など、地域の人材を活用すれば、様々な可能性も広がるのではないのでしょうか。

■2020年、「更級日記千年祭」開催を目指して

2020年は東京五輪開催の年。世界中から大勢の

人々が訪れるこの年は、ちょうど更級日記の作者の旅立ちから千年目にあたります。市原市にしか行えない「更級日記千年祭」が開催できれば…と考えれば夢も膨らみます。

見守り・支えあいのまちづくり

■地域福祉について

市内では、要支援・要介護認定者、一人暮らしの高齢者、障がい者、生活保護者、いずれの人数も、5年前に比べて2〜3割近く増加しています。

この間、地域福祉の単位である小域福祉ネットワークは46地域中43か所にまで広がりました(H26年3月現在)。

地域福祉について様々な角度から質問を頂きました。

*地域福祉の拠点づくり

Q 地域住民の福祉活動の拠点整備の方針は？

A まずは、公共施設など既存の施設の有効活用を支援したい。

*認知症対策

Q 市原市認知症対策連絡協議会(医療機関・介護サービス事業所・行政・住民組織などで平成25年4月に設立)との今後の連携のあり方は？

観光客におもてなしの心を伝え、市民が地元を誇りと愛着を持つためにも、市独自の文化遺産の整備や人材育成に力を注ぐよう、市に訴えました。

A 同会の自主的な活動を尊重しながら、引き続き出来る限りの協力をしていく。

*障がい者支援

Q 地域での障がい者支援は、高齢者などに比べ遅れている。バリアフリースポーツなど、取り組みやすい事例をもっとPRしてはどうか？

A 全ての小域福祉ネットワークが、障がい者への取り組み事例を共有できるように、努めていく。

公的な福祉制度の網の目をさらにきめ細かくするために、地域福祉は非常に重要です。退職した団塊の世代が担えるうちに、しっかりと土台作りを行うよう訴えました。





山本友子 12月県議会報告



県議会では、自民党が圧倒的多数を占め、少数政党の声はなかなか届きません。また女性議員は定員 95 人のうち 7 人だけ。しかし、あきらめず粘り強く発言し続けることで、委員会での議員間討議も少しだけ増えてきました。情報公開、市民参加の姿勢を今後も貫きます。

ブログで活動を報告しています

てくてくともこ

検索

f B でも見る事ができます

4月から特別支援学校が5校開校！

これまで市原、柏、袖ヶ浦などの特別支援学校の超過密状態を視察してきました。

市原特別支援学校でも、音楽室などの特別教室をつぶして普通教室にしたり、職員室では先生達が全員座って会議もできないほどでした。

その課題解決のため4月から県内で5か所の特別支援学校がスタートします。習志野、船橋夏見、矢切（工期の遅れで9月から）、飯高、大網白里です。約500人の定員増となり、保護者からは、いくらか安堵の声が上がっています。

■スクールバスも増加

送迎用のスクールバス38台分の15億円強の予算も組まれました（市原でも1台増）。私の代表質問でスクールバスの乗車時間が長すぎることを取り上げましたが、さっそく改善されたのは大きな喜びです。

今後は、増員された職員力量を高めるための研修の充実を、さらに強く訴えています。

■袖ヶ浦福祉センター虐待死事件 その後

昨年11月の袖ヶ浦福祉センターでの利用者虐待死事件の後、検討委員会で議論され

た施設は少しずつ開放的になっていきます。しかし保護者からはまだ情報が不足しているという声も聞こえます。新たな計画では入所者の

盗難車を解体する悪質ヤードの撲滅 ヤード条例が千葉県に誕生！



鉄板等で囲まれたヤード（県警HPより）

「ヤード」とは、周囲を板やトタン等の塀で囲って自動車部品等を解体したりする施設です。盗難車を解体し海外へ売りさばく拠点となるなど犯罪の温床ともなるケースが全国で頻発していますが、現在の法律では、疑わしくても警察は立ち入りもできず取り締まりに苦慮してきました。

人数を養育園、更生園ともに半分にすることに なっていますが、障がい最重度であるため受け入れ先が見つかるかどうか心配です。今後も議会でも最重度の障害児者への支援の強化を強く訴えていきます。

千葉県にはヤードが5百ヶ所あり、うち市原・千葉地区には52ヶ所あります。悪質ヤード撲滅のため全国初のヤード条例が千葉県で誕生しました。

■立ち入りが可能に！

- 今回の条例で、業者には
 - ①保管届け出
 - ②油等の地下浸透の防止
 - ③エンジン取引の記録作成
 などが義務付けられ、違反があった場合には、勧告・命令・立ち入り検査・罰則も明記されました。立ち入り検査の時には、職員の安全を考慮して環境部廃棄物対策課と県警が同行できます。

議会では、一気に悪質業者を撲滅するためにさらに塀の中が見えるようにすると、取り締まりの職員の増員を訴えました。

基本はいのちと平和です 山本友子のこれからの政策

- ◆税金の使われ方に目を光らせます
 - ・まだまだはびこる縦割り行政。市民目線で税金の無駄使いをチェックします。
- ◆医療・介護・地域福祉が連携する地域包括ケアシステムの実現
 - ・高齢化が進み、単身世帯が増えています。地域の見守りの生きるまちづくりをめざします
- ◆子どもの「健康」と「学ぶ機会」を守ります
 - ・ワクチン問題・原発事故による健康被害調査に取り組みます。
 - ・就学援助金制度、奨学金の無償貸与制度の拡充を図ります。
- ◆脱原発のエネルギー政策&環境保全
 - ・市原市内外の悪質な残土・産廃問題に引き続き取り組みます。
 - ・放射性廃棄物（指定廃棄物を含む）の最終処分場建設計画の白紙撤回を求めます。
 - ・省エネ政策や小規模電力の開発を引き続き支援します。
- ◆大規模震災や風水害に備えた、きめ細かな地域防災体制をつくります。
- ◆集団的自衛権の行使や憲法改正などの国政の動きには断固反対します。

シリーズ18
ひとこまともこ

青い島は、今この
「いのちと平和」

